
2009 年度 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシ
ップ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2 船越メデ
ィカルビル 3F
TEL:075-468-8907
FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの：

アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

目次

2009 年度 活動報告

はじめに	2
事業概要	4
活動内容	6

はじめに

アントレプレナーシップ開発センターでは、アントレプレナーシップ溢れる若者の育成とその支援体制づくりを行うことで活力ある社会を実現することをミッションに、活動を行ってまいりました。2009年度も、このミッションのもとに、多くの方の支援を得ながら、人材育成や啓発活動を継続することができました。特に、大きな成果としては、他団体との協働があげられます。

まず、きょうと・介護福祉ジョブネットの事業として福祉施設の方々と協働し、小・中学生対象にアントレプレナーシップを発揮して働く次世代の担い手育成を行う事業を実施。また、京都大学経営管理大学院とコンソーシアムを組み、老舗企業のイノベーションについての研究を行ったり、佛教大学の四条センターと連携して「新しいかたちの社会参画・社会貢献」として講座を開催したりすることができました。

毎年開催しているトレードフェアでは、企業の協賛や京都府の地域力再生プロジェクトの継続助成にくわえ、昨年度に続き Global Entrepreneurship Week に参画し、東京でのセッションの企画・実現を推進しました。また、スタンフォード大学主催の国際ビジネスコンペの事務局を務めることで、例年開催している高校生の国際コンペである Global Enterprise Challenge の参加者が継続的に参画できる活動を展開することができました。

そして、アントレプレナーシップの概念整理やカリキュラム開発・効果検証を実施するための研究会も開催し、現場の先生方の理解を深めたうえで指導案づくりを行うことも実現しました。

課題としては、昨年度と同様、経済状況の悪化から協賛企業の獲得が難しくなっているなか、事務局スタッフの育成がついていかず、思うような支援体制の構築が図れなかったことです。

今年は、トレードフェアの10周年に当たることもあり、記念事業を行うとともに、今までの課題となっている持続可能な推進体制の実現に向けて、参加校や支援者などとの連携を強化し、学校間の交流がさらに活発に行えるような仕組みづくりに尽力したいと考えております。また、自ら仕事が創りだせる人材育成活動についても積極的に事業展開を行う予定です。

つきましては、皆さまには引き続き当センターの活動へのご理解と支援をお願いしますよう、何卒よろしくお願いいたします。

平成22年6月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
理事長 原田紀久子

事業概要

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	受益対象者の 範囲および人 数
1. アントレプレナーシップ開発推進活動（自主事業）				
<イベント・講座開催などの普及活動>				
Global Enterprise Challenge 2009	【京都市国際交流協会助成対象事業】 青少年の科学技術の関心を高めるために 課題解決に挑戦する高校生対象の国際イ ベント実施	6/7(国内大 会) & 6/22-23 (国際大会)	国内大会:インターネット 開催/国際大会:イギリス グラスゴー	約 100 名
京キッズ町づくり隊 まち 新聞プロジェクト	【子ども夢基金助成対象事業】子どもたち が地元商店街を取材し、にぎわう店の秘 訣や工夫を新聞にまとめて、全国新聞コン クールに応募。	8/1~3	会場:京都市中京区こど もみらい館 取材先:夷 川通り・寺町通り	約 10 名
トレードフェア 2009	企業経営教育プログラム「バーチャル・カ ンパニー」の参加校の発表や対面販売体 験、実践事例紹介、企業人との交流会等 を実施。	11/23	京都大学	約 800 名
Global Innovation Tournament 2009	スタンフォード大学主題の大学生向けのビ ジネスコンペの日本代表チームの選出と 表彰事業。	11/4~13 11/23	インターネット開催・授賞 式は京都大学にて	約 100 名
<学校の学習活動支援>				
アントレ教育の学校への 普及	実践のコンサルティングや教材提供	随時	センター又は各学校現 場	約 2,000 名
<研究会・交流会>				
産官学交流「京都 EDOS」会	中小企業経営者と N P O 事業運営者の 交流・コラボの会を開催	6/5	遊子庵	30 名
アントレプレナーシップ 教育研究協議会	アントレプレナーシップ教育を実践してい る学校の指導者対象の研究会。カリキュラ ム開発や教育効果測定を実施。	3/26,4/18,5/1 0,5/15,7/3,9/ 25,2/21	センター又は各学校現 場	約 20 名
7 周年記念パーティ	新しい理事メンバーの紹介と、事業報告、 会員の交流を実施。	8/20	Al Sole アル・ソール	約 100 名
<広報活動>				
メールマガジンの発行	センター活動の報告・案内	毎月	メール	毎回 約 4000 人
HP による広報	HP などに活動状況を随時報告	随時	HP	不特定多数

2.アントレプレナーシップ開発推進活動（他団体との連携事業）				
<講座開催>				
KCCI 創業塾	【神戸商工会議所委託事業】 起業家教育講座の企画・運営の受託業務	6月～7月	神戸市産業振興センター	約40名
ソーシャル・イノベーション型再チャレンジ支援教育プログラム	【文部科学省「社会人学び直しニーズ対応教育推進事業」同志社大学大学院総合政策科学研究科委託事業】 社会起業に興味ある人への支援講座の共同企画・運営	10月～3月末	同志社大学	約20名
「新しいかたちの社会参画・社会貢献」講座	【佛教大学四条センター委託事業】 特別企画講座として、社会起業についての基礎講座の提供	1月～3月	佛教大学四条センター	約30名
京の街・京の伝統京和菓子	【「子ども夢基金助成対象事業」ぞくっこくらぶ委託事業】 子どもたちが地元和菓子店の協力のもと、新しい和菓子作り挑戦。トレードフェアでその成果を発表。	9/13,10/18, 11/15,11/23 (4回)	会場：こどもみらい館 発表：トレードフェア2009(京都大学)	約10名
<事業運営>				
福祉分野の仕事理解促進&次世代の担い手育成事業	【京都府平成21年度「きょうと介護・福祉ジョブネット】 仕事理解促進WGのコーディネイトと「次世代の担い手育成事業」の企画・実施	4月～3月末	ハートピア京都・各実施学校にて	約100名
府立高校生の体験活動支援事業	【京都府教育委員会】 高校生の体験活動のための受け入れ企業開拓と派遣のためのコーディネイト	9月～3月末	受入企業にて	約45名
<研究>				
京都の老舗企業研究	【平成21年度経済産業省「産業技術人材育成支援事業(サービス工学人材分野)」 京都大学委託事業】 京都の老舗の事業継続の秘訣を研究・分析	10月～3月末	京大・取材先企業にて	約20名
3. 研修・コーディネイト				
指導者研修・講演等	起業家教育普及のための指導者研修会	随時	各学校にて	約1000名
海外視察アレンジ	海外のキャリア教育機関の視察のコーディネイト	9月	現地機関訪問	約10名
4. その他講師・委員など				
講演など	同志社女子大学等	随時	大学の講義室	約100名
公的機関の委員など	委員会への出席	随時	各主催者の会場	

(2)その他事業なし

活動内容

1. アントレプレナー開発推進活動（自主事業）

<イベント・講座開催などの普及事業>

●Global Enterprise Challenge（グローバルエンタープライズチャレンジ）2009

本イベントは、当センターがスコットランドの行政機関であるキャリアスコットランド(Careers Scotland)との共催で、18歳以下の青少年対象に実施している活動です。日本で実施する国内予選大会と、各国の代表チームが競い合う国際大会とで構成されており、8名以下の高校生で編成されたチームが、1名の起業家のファシリテーターのサポートを受け、その場で出された課題解決に挑戦します。課題は、環境や福祉などの既存の社会的問題に関わるもので、参加者は、科学技術などの知識を活用して解決策を事業プランとしてまとめて発表。提案内容は、審査員により、創造性・革新性・実現性・市場性・コミュニケーション能力などの点を総合的に評価され、優秀チームが決定されます。

【国内予選】6月7日(日) 9:00～17:00 インターネット開催

<課題>「我が国の食料自給率はカロリーベースで40%と言われており、穀物では米、さつまいもが100%の自給率を達成しているだけでほとんどの食材を諸外国からの輸入に頼っているのが実情です。このようななか、ここ数年、汚染米の転売や産地偽装など、食に関する不祥事が続き、日本国民の食の安全への意識が高まってきています。一方で、農業の収益性の低さから、農村では高齢化が進み、農業従事者が激減していますが、農地法の改正により規制が緩和され、最近、株式会社形式の農業経営や異業種企業の農業への参入が始まってきています。このような現状を踏まえ、異分野の技術を農業に活用し、かつ、経営的にも十分成り立つ新しい農業の事業モデルを提示しなさい。」



真剣にチャレンジに取り組む生徒たち（京都 伏見工業高校／すばる高校）

<審査結果>創造性、市場性、実現性、コミュニケーション能力などから総合的に判断し、審査が行われた結果、以下の2チームが入賞しました。

最優秀賞：京都市立伏見工業高等学校 A チーム

チームワーク賞：東京都内高等学校合同チーム

京都市立伏見工業高等学校 A チームが提案したプランは、「Beansiness」です。国内で消費される大豆の海外依存度の高さに着目し、都市郊外の遊休施設を利用した大豆の苗の栽培による自給率の増加を目的とした事業内容となっております。大豆の特性や事業にかかるコストについて現実を見据えた提案内容に高評価を頂いての受賞となりました。

チームワーク賞を受賞した東京都内高等学校合同チームは、「農家と企業を提携させる新しいビジネスプラン」と題して、大企業と農家が提携するビジネスモデルを提案しました。

【国際大会】6月22日～23日 イギリス（グラスゴー）

<課題>「世界では何十億人もの人達が毎日飢えているなか、一方では、G-20の加盟国では毎年何百トンもの食糧を何十億もかけて処分している。あなたたちのチャレンジは、自分たちの国の廃棄食品を減らし、世界の最貧国のどこか一国での飢餓を減らす助けとなるような革新的な製品やサービスのモデルを提案することです。」

<審査結果>

今年は14カ国の代表チームが参加し、優勝はインドネシアチーム、特別賞(創造性)は韓国チームが獲得しました。日本代表である京都市立伏見工業高等学校の生徒たちはインターネットでの参加となり、課題解決に取り組みました。提案したプランは、「Convenience Compost」です。毎日コンビニで出る大量の廃棄食糧を肥料に変え、タンザニアでキャッサバを栽培するというものです。これによって、日本での食糧の無駄を削減し、世界中で最も貧しい国の一つであるタンザニアの飢餓を救うというプランでした。日本代表チームは惜しくも入賞は逃しましたが、ベストを尽くした生徒たちにとっては満足のいく忘れがたい一日になったことでしょう。



産業担当大臣の Jim Mather
よりミッションが発表



NASA の宇宙飛行士 Sandra Magnus の講演

審査発表
(シンガポールのサイトより抜粋)



闘志を燃やすジャパンチームの面々



●京キッズ町づくり隊 ～まち新聞プロジェクト～ 新聞記者になってみよう！

商店街を調査して取材内容や改善案を新聞としてまとめることで、お商売の工夫や商店街の存在意義などについて理解してもらうために、「子どもの夢基金」から助成を受けて、夏休みに小・中学生対象の活動を実施しました。東京からも参加者があるなど、参加した子供たちには、商店街や講師の人以外とも貴重な出会いがありました。

日時：平成21年8月1～3日（全3日間）

場所：こどもみらい館

協力：夷川商店街、商街振興組合寺町会、京都新聞社、京都リビング新聞社

内容：参加した子どもたちはまず、『京キッズ町づくり隊』の記者として取材や新聞づくりについて学習したあと、中京区の夷川通りと寺町通りを取材。現場調査やお店の人へのインタビューなどを通して、町の歴史や特徴を調べ、賑わいのある町になるためにどんな工夫がされているか、また、もっと魅力的な商店街になるためにどんなことをすればよいのかを新聞記事としてまとめました。



清田先生から取材のヒントを



考えた質問をお店の人に尋ねる



どんな記事を書くのか相談



親切にご対応いただきました



いよいよ新聞作りへ



緊張しつつもしっかり発表



どちらのチームも個性たっぷりのすてきな新聞が出来上がりました！

●Global Entrepreneurship Week <http://www.entrepreneurshipweek.jp/>

Global Entrepreneurship Week は、2004年にイギリス現首相 Gordon Brown の提唱により発足し、2007年には米国で経済活動における起業家精神の重要性を推進するカウフマン財団 CEO カール・シュラム氏のリーダーシップの下「Entrepreneurship Week USA」として開催され、2008年から、約80カ国が参加する世界レベルのアントレプレナーシップの推進運動となっています。日本では、(財)本田財団がホストとなって11月16日～23日までGEW Japan イベントが開催され、16日と20日には、政策研究大学院大学 (GRIPS) にて独自イベントを開催。当センターも実行委員として参画、20日のセッションにて若者のアントレプレナーシップについて議論しました。

開催日時：2009年11月20日(金)

開催場所：政策研究大学院大学 (GRIPS) (想海樓ホール)

スケジュール：

09:00 ～ 09:30 登録／コーヒー

司会進行：

- 角南 篤 政策研究大学院大学 (GRIPS) 准教授
- 斉藤 ウィリアム 政策研究大学院大学 (GRIPS) アソシエイト・フェロー

09:30 ～ 10:00 開会基調講演

議題：京都からコペンハーゲンへ ～コペンハーゲンのスマートな取り組み～

講演者：フランツ・ミカエル・メルビン デンマーク駐日大使

10:00 ～ 11:15 セッション 1

議題：新しいイノベーション・フロンティア に集結せよ ～ CO2 25%削減は大チャンス ～

モデレーター：米倉 誠一郎 一橋大学イノベーション研究センター長

パネリスト：

- 赤羽 雄二 ブレークスルーパートナーズ マネージングディレクター
- 松本 毅 大阪ガス株式会社 技術戦略部 企画チーム
- オープン・イノベーション担当部長/MOT (技術経営) 担当部長
- 飯田 哲也 特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所 代表
- ゴードン 禎 株式会社 gEco 代表取締役

11:20 ～ 11:50 スペシャルプレゼンテーション

議題：ブルーエコノミー：危機に臨む新たなビジネスモデルの育成 - 10年で100のイノベーションと1億の職を

講演：グンター・パウリ ゼロ・エミッション構想研究 (ZERI) 財団 代表

12:00 ～ 14:00 ランチ会および基調講演

議題：起業家精神に関する話題 - 直接得られる経験

モデレーター：道傳 愛子 NHK

講演：ジョン・V・ルース アメリカ駐日大使

14:00 ～ 15:30 セッション 2

議題：日本についての外国人起業家の見解

モデレーター：イエスパー・コール 日本タンタロンリサーチ株式会社 社長兼最高経営責任者

パネリスト：

- テリー・ロイド 株式会社リンクメディア 代表取締役
- マイケル・アルファント フェュージョン・システムズ グループ会長
- サンジーヴ・スィンハ 株式会社サンアンドサンズアドバイザーズ 代表取締役社長

- ジェラルド・ハネ バテルジャパン株式会社 代表取締役社長

15:35 ~ 15:55 プレゼンテーション

議題：未来を創造する?! - ユースウィークおよび日独ユースサミット 2009 東京

代表：

- ヘニング・ストックス 独日ユース協会 代表 dejs.de CEO
- 蛸久 春香 独日ユース協会 役員
- 笠井 高秀 慶應義塾大学経済学部 G8 ユースサミット 財務
- 村上 悠太 一橋大学 経済学部 日本特定非営利活動法人アイセック・ジャパン専務理事 兼 事務局長

16:00 ~ 17:30 セッション 3

議題：若者のアントレプレナーシップをいかに育成するか

モデレーター：原田 紀久子 アントレプレナーシップ開発センター 理事長

パネリスト：

- 岡田 実 三鷹市立第一小学校 校長
- ヘイッキ・マキパー フィンランドセンター 所長
- 八尋 俊英 経済産業省経済産業政策局参事官（新需要開拓・雇用創出担当）新規産業 室長
- 今村 久美 カタリバ大学コーディネーター/特定非営利活動法人 NPO カタリバ 代表理事

17:30 ~ 18:00 クロージング

議題：ラプソディ・イン・グリーン（環境狂想曲）

講演者：アルネ・ウォルター ノルウェー駐日大使

●第9回 パーチャル・カンパニートレードフェア 2009 京都～地域活性化の担い手集合！

9 回目を迎える今年のトレードフェアは、「地域活性化の担い手集合！」をテーマに、全国から、23 団体、41 チームが参加し、日頃の学習成果を展示販売とプレゼンテーションを通じ、互いに競い合いました。また、並行して、指導者向け教育実践の紹介や小・中向けにワークショップを開催。起業家の講演の後、表彰式を行いました。その後の起業家との交流会では、世界的なアントレプレナーシップの推進運動である Global Entrepreneurship Week の一環として、(財) 本田財団と当センターが共催した「Global Innovation Tournament」の入賞者への表彰も行われ、今後の日本でのアントレプレナーシップの推進につながる、大きな連携の輪が築くことができました。

なお、当日は、多くの方々に参加いただき、また、マスメディアで取り上げていただいたおかげで、アントレプレナーシップ教育についてより広く知っていただく機会となりました。運営においても、昨年度参加した学生や協力団体の担当者がボランティアスタッフとして参画する体制が徐々に構築されつつあります。来年 10 周年に向けて、さらに発展的な取り組みになるよう尽力したいと存じます。

日 時：平成 20 年 11 月 23 日（月）10:00～17:00

場 所：京都大学百周年時計台記念館

主 催：トレードフェア実行委員会

参加者数：約800名(内訳-参加校生徒400名,その他来場者 400 名)

マスコミ：NHK 京都テレビ・KBS 京都テレビでのニュース放送、京都新聞での取材記事



<トレードフェア開会式>

地域力再生プロジェクトで3カ年助成をいただいている京都府の山田京府知事より応援のメッセージ



山田啓二氏（京都府知事）



市原達朗氏（トレードフェア実行委員長）



<ブース展示・販売/プレゼンテーション>



どのチームも競い合い、元気よく展示・販売を行うことができました！



短いプレゼン時間の中、工夫を凝らしたプレゼンテーションで各社の説明を行いました

<教育実践セミナー> 提供：アントレプレナーシップ教育研究協議会

「生活科・地域探検学習を通して 養正キッズパトロール隊・いざ出陣！」

市賀都子（京都市立養正小学校 教諭）

「授業から学級、そしてクラブへ派生する生徒の自信とその活動」

山本瑞絵（平安女学院中学校 教諭）



<経済教育ワークショップ> 提供：東証アカデミー

「ボードゲームで遊ぼう！社会や経済の動きと株価」

石山晴美（株式会社東京証券取引所グループ CSR 推進部 東証アカデミー事務局）



<起業家講演> 「なくなつては困ると言われる会社を目指して」

木村皓一（株式会社ミキハウス 代表取締役社長）



滅多に聞けない起業家の熱いご講演に、参考になったという意見が多く、また会社を身近に感じたようです。

<表彰式>



いつ自分のチームの名前が呼ばれるのか。会場は興奮と熱気に包まれていました。

●Global Innovation Tournament 2009



STANFORD
TECHNOLOGY
VENTURES PROGRAM
AT STANFORD UNIVERSITY

主 催：Stanford Technology Ventures Program

共 催：財団法人本田財団
特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

協 力：日本スタンフォード協会

内 容：Global Innovation Tournament (GIT)は、Stanford 大学工学部の Stanford Technology Ventures Program が主催するビジネスプランコンテストで、今年は、31 カ国から約 1000 件のエントリーがありました。日本では、Global Entrepreneurship Week のホストである（財）本田財団と（特）アントレプレナーシップ開発センターとが共催団体として協力し、日本代表を審査・授賞式をオーガナイズしました。

今年の課題は「MAKE SAVING MONEY FUN!」で、11月4日に Web 上に発表され、参加者はチームを組んで課題解決の提案を3分プレゼンでまとめ、締め切りの11月13日までに日本の審査対象として提出を終えたのは、10 チーム 12 のプレゼンテーションでした。審査の結果、日本の代表として3 チーム 4 作品をエントリーしました。その結果、KMMTT の Awesome Innovation が最終選考の末、受賞の 22 チームに残り"Provocative But Creative" Award を受賞しました。おめでとうございます！



次の日本を担う優秀なアントレプレナー予備軍が集結しました。

<研究会・交流会>

●第 21 回：京都 EDOS 会：「サービス業での創造的知識労働者の育成について」

日 時：平成 21 年 6 月 5 日(木)18:30-20:30

場 所：遊子庵 京町家室町

内 容：京都 EDOS 会は、教育界と産業界を結ぶ交流の場を提供してきましたが、6 年目にあたり、中小企業や NPO 法人・学校などの非営利事業の経営者などが集い、交流するアントレプレナー（起業家）のネットワーキング会を開催しました。



中小企業の経営者は常に新しいビジネスのアイデアを探しておられる一方、NPO など公益団体は現場ニーズを把握し、アイデアはあるけれども継続事業としての収益モデルが確立できずに悩んでいる方が多いのではないのでしょうか。そんな二つの組織を結びつけ、新しい事業を創造できる場を持つべく、中小企業経営者と NPO 事業運営者の交流・コラボの会を開催致しました。

●アントレプレナーシップ開発センター7周年記念交流会

今年で、当センターが事業を始めて12年、お陰様でNPO法人として独立してから7年目を迎えました。7月1日、理事長と数名の役員が交代したのを機会に、会員の方にくわえ、日頃よりご支援いただいている方々と一緒に記念行事を開催しました。

日時：平成21年8月20日（木）

場所：アル・ソーレ（河原町今出川）

【新役員の紹介】

理事長 原田 紀久子
副理事長 市原 達朗
理事 今里 滋 黒澤 敏朗 星野 寛



12年前に事業を始めた当初からの支援者、堀場氏より励ましのお言葉を頂戴いたしました。

（株式会社堀場製作所最高顧問 堀場 雅夫氏）



小学校から大学までの先生、行政の方、企業やNPO法人の職員や経営者の方々と、幅広いご支援者の方にお越しいただき、交流を楽しみました。皆さま日頃の温かいご支援、誠にありがとうございます。

●アントレプレナーシップ教育研究会

アントレプレナーシップ教育の意義や基本コンセプトを理解したうえで、授業の進め方、地域との連携、カリキュラムを開発、効果測定の方法、実践の発展的取り組みなどについて議論を行いました。結果、特に、初等教育の段階で、指導者の理解や実践を深めることができました。しかし、教育効果の測定においては、まだ検証段階です。

開催日時：

2009年3月26日（金） 17:00～19:00 （初等・中等部 1回目）
2009年4月18日（土） 16:30～18:00 （初等・中等部 2回目）
2009年5月10日（日） 14:00～17:00 （高等部 1回目）
2009年5月15日（水） 19:00～21:00 （初等・中等部 3回目）
2009年7月3日（金） 19:00～21:00 （初等・中等部 4回目）
2009年9月25日（土） 19:00～21:00 （初等・中等部 5回目）
2010年2月21日（日） 15:00～17:00 （初等・中等・高等部合同会議）

2.アントレプレナー開発推進活動（他団体との連携事業）

<講座開催>

●神戸商工会議所「KCCI創業塾（第11期）～起業家カレッジ」

開催期間：平成21年6月20日（土）～平成21年7月25日（土）

神戸商工会議所の創業塾にて「会社を作ろう！」の講座を実施。会社運営に必要な基礎知識を学びながら、グループに分かれて新規ビジネスを提案。参加型講座で、受講生の方々もネットワークを広げ、その後の仕事につなげておられます。

1	6/20（土）10:10～12:00： 会社を作ろう！（1）～起業するために一番重要なことは？～
2	6/27（土）9:30～11:30、14:00-16:30 会社を作ろう！（2）～ビジネスアイデアを具体化する～
3	7/11（土）9:30～11:30、14:00-16:30 会社を作ろう！（3）～ビジネスプランの立案～
4	7/18（土）12:30-16:00 会社を作ろう！（4）～企画書の完成とホームページ作成～
5	7/25（土）9:00～11:30、12:30～14:30 会社を作ろう！（5）～企画書のブラッシュアップ作業&発表会～

*講座の講師は、アントレプレナーシップ開発センター理事長 原田が務めました。



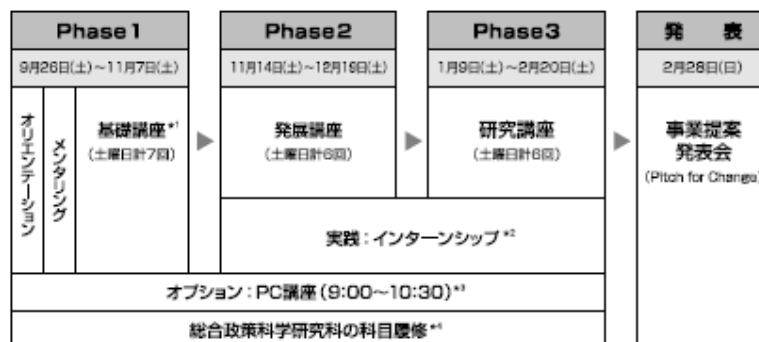
●平成21年度文部科学省：社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業

同志社大学大学院総合政策科学研究科『ソーシャル・イノベーション型再チャレンジ支援教育プログラム』

開催期間:平成21年10月3日(土)～平成22年2月28日(日)

開催場所:同志社大学 今出川キャンパス

■ 講座の流れ



平成 19 年から 3 年間開催した本事業も最終年度でとなりました。総勢 48 名の方が卒業され、そのうち、1/3 近くの方が大学院に進級され、同じく 1/3 近くの方が起業または NPO 法人などの仕事に関わっておられます。何よりの収穫は、受講生同士のネットワーク。卒業後も情報交換しながら、互いの夢の実現に向けて励ましあっておられます。

本年度当センターは、基礎講座のなかで、「アントレプレナーシップ開発」コースを担当し、3 日間 8 コマの講座を企画実施しました。

2009 年 10 月 10 日(土)	
10:45-12:15 「アントレプレナーシップとイノベーション」	
講師名(肩書)	原田紀久子(NPO法人アントレプレナーシップ開発センター理事長)
13:00-14:30	
講師名(肩書)	元地裕子(アクシ株式会社 代表取締役社長) 吉野智和 (NPO 法人エクスクラメーションスタイル 副理事長、統括マネージャー)
14:45-16:45 「ミッションと事業モデル」	
講師名(肩書)	原田紀久子(NPO法人アントレプレナーシップ開発センター理事長)
2009 年 10 月 24 日(土)	
10:45-12:15 「ターゲット顧客と市場分析」	
講師名(肩書)	奥谷 京子(WWB/ジャパン (女性のための世界銀行日本支部)代表)
13:15-14:45 「事業計画書の立案」	
講師名(肩書)	原田紀久子(NPO法人アントレプレナーシップ開発センター理事長)
15:00-16:30 「非営利事業の資金調達について」	
講師名(肩書)	関戸美恵子 (NPO法人起業支援ネット 理事)
2009 年 11 月 7 日(土)	
13:15-16:30 「事業構想案のプレゼンテーション」	
講師名(肩書)	坂口俊一(京都試作センター株式会社 総務部長) 宇田名保美(宇田マネジメント株式会社 代表取締役・中小企業診断士)



●仏教大学四条センター 特別企画講座「新しいかたちの社会参画・社会貢献」

社会貢献事業に携わりたい方対象に、入門・基礎講座として、市民活動への参加方法、NPO法人などの設立に関わるお話や、社会起業家の実体験や彼らが社会に与える影響などをシリーズで紹介。多様な分野での社会貢献活動への参画を後押しする「きっかけ」づくりを目的に講座を開催しました。

2010年1月20日(水) 15:30-17:00 「作業所から社会に発信！」

講師名(肩書)	吉野 智和(NPO 法人エクスクラメーションスタイル 副理事長、統括マネージャー)
---------	---

<講座内容>障害者の日中活動拠点や作業所で作る物を、“デザイン”を切り口に斬新に新しいことに取り組んでいる吉田氏から、活動内容・成果・課題を聞き、既存の社会的課題に新しい方法で挑戦するヒントを得ました。

2010年2月17日(水) 15:30-17:00 「ECOライフを楽しく！」

講師名(肩書)	太田 船平 (NPO 法人地域環境デザイン研究所 ecotone 代表)
---------	--------------------------------------

<講座内容>現在の大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムの変革をめざし、環境共生型まちづくりを推進している太田氏。講座では多くの人を巻き込み、楽しみながら社会貢献するコツを教えてくださいました。

2010年3月3日(水) 15:30-17:00 「あなたの参加で町を元気に！」

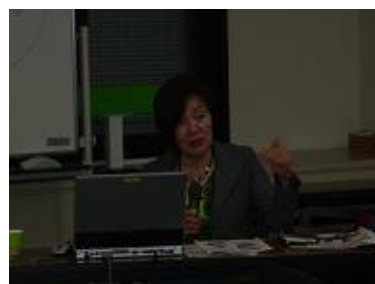
講師名(肩書)	中村 順子 (NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸 理事長)
---------	-------------------------------------

<講座内容>地域の人による地域のための支援活動を支援してきた中間支援機関の先駆者としての体験談を交えながら、共生循環型のまちづくりや市民参加型の新しいコミュニティづくりを行っている非営利活動団体(NPO)の存在意義やより良い社会づくりのための今後の動きについて紹介していただきました。

2010年3月17日(水) 15:30-17:00 「あなたの思いを形に」

講師名(肩書)	原田 紀久子 (NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長)
---------	--------------------------------------

<講座内容>自分がやりたいなと思っていたことを、身近なところで初める第一歩のための講座。既存の団体を支援するのもよし、自分で事業を立ち上げるのもよし。参加者で議論しながら、行動に向けてプランニングしました。



●京の街・京の伝統「京和菓子」

参加者は、京の和菓子についてその歴史や工夫について学んだのち、地域にある和菓子屋を取材。取材内容をまとめたあと、実際に和菓子作りを体験。その後、自分たちのオリジナル和菓子を創作し、模擬会社を立ち上げトレードフェアで販売しました。

日時：＜基礎編＞平成21年8月1～3日（全3日間）

＜発展編＞9月13日、10月18日、11月15日、23日、12月5日（全5日）

場所：こどもみらい館&アントレプレナーシップ開発センター

主催：ぞくっこくらぶ

協力：株式会社笹屋伊織、甘春堂

取材協力：株式会社ブランブリュン、甘楽花子（かんらくはなご）、亀屋廣和



主催者の濱野さんから活動の説明



笹屋伊織の田丸さんが京菓子の説明



和菓子づくりに挑戦！



和菓子について市場調査



調査内容をまとめる



新しい和菓子を企画&宣伝！



試作品完成！



新規商品の発表！



甘春堂の方からコメントもらいました。



京菓子販売のお店「おぶとも亭」を立ち上げ、笹屋伊織のご協力で商品化。トレードフェアでは完売しました！



<事業運営>

●京都府職業教育充実事業「府立高校生の体験活動」

昨年に引き続き、当センターで、高校生の体験活動に協力してくれる企業のコーディネイトを行いました。多くの方のご理解とご協力のものにて8企業9種類の体験活動に約40名の高校生が参加することができました。

【活動内容】

- 1) インターンシップ(3日間): 企業現場で実際に簡単な仕事に従事する
- 2) ジョブシャドウイング(1日間): 社員と一日行動を共にする
- 3) 企業訪問(半日間): グループで企業を訪問し、社員から話を聞いたり、施設見学を行う

【受け入れ企業】

- ・ 株式会社京都ホテル
- ・ 佛教大学
- ・ 京都大学
- ・ 株式会社堀場製作所
- ・ 特定非営利活動法人きょうとNPOセンター
- ・ 有限会社アイブルーム
- ・ 株式会社カスタネット
- ・ ソフトコム株式会社



●京都府平成21年度「きょうと介護・福祉ジョブネット」仕事理解促進事業

次世代の介護・福祉人材の育成を目標に、福祉の仕事への興味・関心を促進するため、小・中学校の「総合的な学習の時間」などを活用し、学校教育の中で福祉の仕事についての理解を深めるモデル事業を小・中学校で実施しました。結果、中学校では、福祉の仕事に将来就いてみたいという生徒が3割増加する結果となりました。

実施校：京都市立養正小学校4年生33名、平安女学院中学校2年生34名

授業時数：45分×25～30コマ

協力：京都市老人福祉施設協議会、京都府老人施設協議会、京都府介護福祉士会
朝日小学生新聞・中学生ウィークリー、京都新聞社



講師方のお話を聞く



事業所で働く人に取材



新聞の作り方を学ぶ



新聞作成



事業所の方を招待して、学んだことを発表



<研究>

●平成 21 年度経済産業省「産業技術人材育成支援事業（サービス工学人材分野）」 京都大学「京都の新旧商業分野の事例分析および他地域への展開事業企画を通じたサービス人材育成」の京都の老舗企業研究事業

京都で老舗と呼ばれる企業で、過去 10 年の間にイノベーションを起こしている企業を選び、経営者・マネージャーへのヒアリングや店舗調査などを実施。事業継続の秘訣や工夫を研究、分析し、ケース教材としてまとめました。本年度は、「株式会社エイラクヤ」、「株式会社福寿園」、「株式会社よーじや」の三社にご協力いただきました。いずれも、会社に代々受け継がれている伝統事業を活かしながら、技術革新を行い、新しい付加価値商品でここ数年注目を浴びている企業です。次年度は本研究をもとに、サービス産業人材の育成カリキュラム開発にむけて、京都固有の環境要因や起業家の属人的要素を考慮したうえで、他地域への応用展開可能な要素を研究・抽出していく予定です。



<京大での報告会の様子>

3. 研修・コーディネート事業

●松本市教育委員会教員研修

松本市では青少年課勤労青少年ホームが主体となってキャリア教育を推進し、当センターの Web 教材「キッズアントレ」を活用。夏休みに指導者研修を実施し、本年度は小学校 4 校、中学校 2 校のモデル校で 22 クラス、約 800 人以上が参加しました。

開催日時：平成 21 年 8 月 4 日：松本市立梓川小学校・田川小学校・高綱中学校
平成 21 年 8 月 17 日：松本市立今井小学校・二子小学校・旭町中学校

●三鷹ネットワーク大学推進機構・三鷹市教育委員会連携事業

三鷹市教育委員会では、NPO 法人三鷹ネットワーク大学と連携して、三鷹市立の全小中学校においてアントレプレナーシップ教育の導入を 3 カ年計画で実施。昨年度当センターでは、ワークショップ形式で 10 回の研修を実施し、今年度は、そのモデル授業についてアドバイスをさせていただきました。

開催日時：平成 21 年 9 月 11 日：三鷹市立第四小学校
平成 21 年 10 月 21 日：三鷹市立第二中学校
平成 21 年 10 月 28 日：三鷹市立羽沢小学校
平成 21 年 11 月 25 日：三鷹市立第二小学校

●講演会等

- ◇ 平成 21 年 6 月 17 日 立命館大学アントレプレナーシップコースにて講演
- ◇ 平成 21 年 7 月 24 日 京都流議定書にてアントレプレナーシップ教育の実践発表
- ◇ 平成 21 年 8 月 23 日 授業のネタ研究会 IN 関西にて
「地域連携型アントレプレナーシップ教育」を発表
- ◇ 平成 21 年 9 月 26 日 経済教育学会全国大会・分科会にて
「地域連携型アントレプレナーシップ教育の効果と課題」を発表
- ◇ 平成 21 年 11 月 13 日 第 2 回サービス・イノベーション国際シンポジウムにてパネラー参加
- ◇ 平成 21 年 11 月 20 日 Global Entrepreneurship Week Japan にて企画セッション
「若者のアントレプレナーシップをいかに育成するか。」

4. その他：支援校の取り組み

バーチャル・カンパニーの参加校が、どんどん地域の人たちとの連携を広げています！

◎前橋国際大学のバーチャル・カンパニー

共愛学園前橋国際大学の兼本雅章准教授が指導するバーチャル・カンパニー『桑茶工房』と『上州米粉屋本舗』が支援企業と連携した商品が商品化され、一般販売されることになりました。『桑茶工房』は、支援企業の「たまむらとうふ」（佐波郡玉村町）と「ぐんま製茶」（桐生市）と開発した”沖縄黒糖シロップつきのよせ豆腐”『ふわ桑たま』。『上州米粉屋本舗』は、(株)みまつ食品（前橋市）と共同開発した”上州米粉屋本舗オリジナル餃子”を工場直売店「餃子工房 RON」とインターネット・通信販売で販売。

また、2005 年から門倉メリヤス株式会社（前橋市日吉町）を支援企業に活動しているバーチャル・カンパニー『繭美蚕（まゆみさん）』は、自社のHPを立ち上げ、新商品「あったカイコシリーズ」を販売開始。 <http://mayumi3.shop-pro.jp/>



◎愛知学院大学のバーチャル・カンパニー

愛知学院大学の経営学部、鶴飼宏成教授が指導するバーチャル・カンパニーの一つ「土バンク」が、大豆や松など自然の素材から作られた洗剤・石けんで「第 16 回コカ・コーラ環境教育賞」の次世代支援部門で優秀賞を受賞！

また「プロジェクト B o x」は、災害時やレジャー用に抗菌・消臭性を持たせた T シャツを保管しやすいようにティッシュ箱の中に入れたアイデアで、キャンパスベンチャーグランプリ中部大会で奨励賞を受賞しました。



◎同志社女子大学のバーチャル・カンパニー

同志社女子大学情報メディア学科の e コマース研究（関口英里准教授担当）のチームが楽天市場の出店店舗「きもの京小町」と、着物の福袋をコラボ。売上利益をカンボジアの学校建設に寄付しました。また、株式会社岩田良との共同開発文具「携帯型クリップケース」が[携帯電話型ミラーVIVID ミラー]に続き、近日発売予定。また、トレードフェア協賛企業のTNCブライダルサービスと連携して、紫式部の邸宅跡とされる廬山寺（ろざんじ）での十二単（じゅうにひとえ）姿の結婚式「源氏物語ウエディング」を企画。大きな反響を呼んでいます。



■□2009年度プレスリリース

当センターが支援している学校の取組みが新聞で紹介されました。記事の内容は、当センターHP の下記のページからご覧下さい。<http://www.entreplanet.org/press/index.html>

- ・2010年2月18日 京都新聞 「福祉の仕事、新聞で発表養正小児童 5施設の取材まとめ」
- ・2010年1月29日 毎日新聞 「桑茶入りよせ豆腐：『ふわ桑たま』共愛学園前橋国際大学生らが開発」
- ・2010年1月07日 読売新聞 「老舗の経営ノウハウ体系化 成功事例を研究」
- ・2009年12月28日 日刊工業新聞 「『老舗の強さ』モデル化 水平展開の可能性探る」
- ・2009年12月6日 京都新聞 日曜経済 My ウェイ My ライフ
「起業家精神で人材育成」（理事長原田の紹介）
- ・2009年11月24日 京都新聞 「仮想企業で起業体験：小中高生らアイデア商品」
- ・2009年11月23日 KBS 京都テレビ 「京プラス」の番組でトレードフェア紹介
- ・2009年11月23日 NHK テレビ ニュース番組でトレードフェア紹介
- ・2009年8月3日 京都新聞 「小中生 熱心に新聞作り 家具店など取材」
- ・2009年7月21日 日経 Kids+ 特集「2009 新しい学びのカタチ ワークショップ最前線」
- ・2009年7月11日 京都新聞 「京キッズ町づくり隊～まち新聞プロジェクト～
新聞記者になってみよう！」募集記事
- ・2009年6月19日 京都新聞 「伏見工生、世界の若者と競う ネット参加、準備に熱」
- ・2009年4月20日 毎日新聞 「源氏物語結婚式：紫式部邸宅跡で十二単 女子大生が発案」
- ・2009年4月2日 KBS 京都ラジオ KBS 京都ラジオ
「笑福亭晃瓶のほっかほっかラジオ」嘶の朝ごはん に出演
同志社女子大学（4/19）宇治市立菟道第二小学校（4/23）のバーチャル・カンパニーの取組みも紹介されました
- ・2009年3月6日 京都新聞 「なまっ茶キャラメル宇治新名物に 菟道第二小児童が考案」